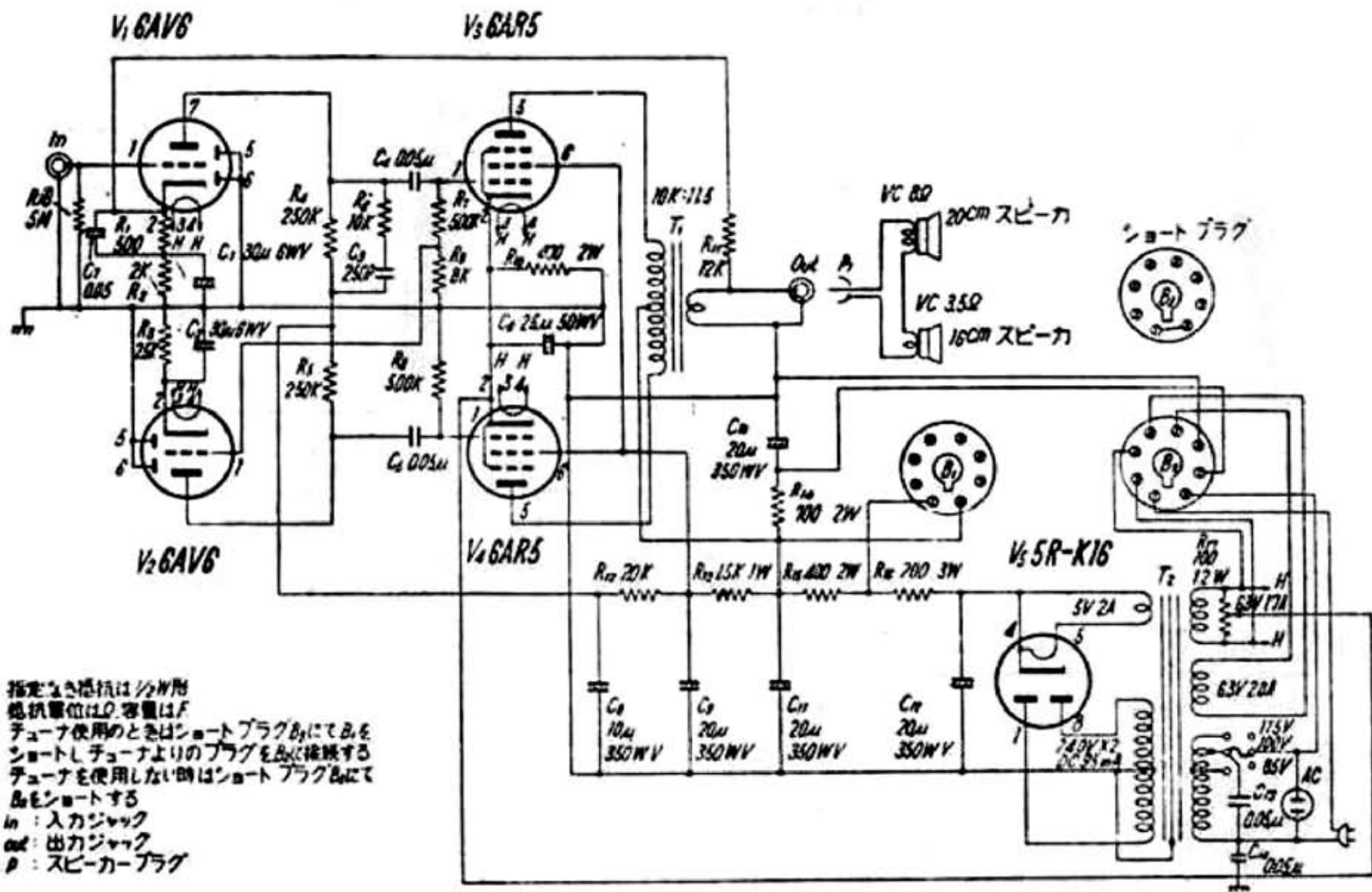


# 日立 A-1001G の回路



(注)

- 1 指定なき抵抗は $\frac{1}{2}W$ 附
- 2 抵抗値位は $\Omega$ 、容量は $F$
- 3 チューナ使用のときはショートプラグ $B_2$ にて $B_1$ をショートしチューナよりのプラグも $B_2$ に接続する
- 4 チューナを使用しない時はショートプラグ $B_2$ にて $B_1$ をショートする
- 5 in : 入力ジャック
- 6 out : 出力ジャック
- 7 P : スピーカープラグ